

組織部速報

2016年6月20日
No.95

たしろかおる応援プロの只中貨物労組代表派遣

6.19沖縄県民大会65000人が結集！

辺野古新基地をつくらせないオール沖縄会議主催の米軍属女性暴行殺人事件に抗議する「元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し海兵隊の撤退を求める県民大会」が19日、那覇市奥武山公園陸上競技場で開催されました。



被害者へ黙祷を捧げる大会参加者

貨物労組からは現地に代表を派遣し、国会前の集会にも組合員が参加しました。

会場には沖縄県内外から65000名が参加し、怒り、悲しみ、全基地撤去を訴えました。県民大会は冒頭より黙祷に始まり、被害者への鎮魂と遺族の無念に参加者全体が哀悼の意を示す深い悲しみの中での開催となりました。

**怒り！悲しみ！もう限界！
米軍海兵隊の撤退を決議！**

国会前や全国各地で沖縄の思いを 共有＝連帯の輪が全国に広がる！

巷では父の日というその日に開催された大会には、被害者遺族の父親からもメッセージが寄せられ、「娘を最後の被害者として全基地撤回と辺野古新基地反対は県民が一つになれば可能だ」と悲痛に訴えました。

また、大会決議では日米両政府に対して、①遺族及び県民に対する謝罪と完全な補償を行う。②在沖縄海兵隊の撤退、基地の大幅な縮小、普天間基地の撤去。③日米地位協定の抜本的改定。を決議しました。



今月22日公示される第24回参院選は改憲が焦点となります。沖縄県民の怒りや悲しみを共有する私たちにとっての決戦となります。これまで沖縄から学んできたことを今回の選挙でしっかりと意思表示することが必要です。

オール沖縄の闘いをオールジャパンのたたかいへと高め、たしろかおる応援プロジェクトの貫徹に向けてもうひと踏ん張りしましょう！

暴走政権ストップ！参院選を闘い抜こう！！